

年間授業計画

保谷 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 文学基礎

教科: 国語 科目: 文学基礎 単位数: 1 単位
 対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者: (1組: 多賀) (2組: 多賀) (3組: 多賀) (4組: 多賀) (5組: 多賀) (6組: 多賀)
 (7組: 多賀) (8組: 多賀)
 使用教科書: (近代文学セレクション(啓隆社))

教科 国語 の目標:
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①文学的な言葉や表現についての知識を身に付ける。 ②文学的文章の読み方について理解する。 ③近代文学史の知識を身に付ける。	①文学的な言葉や表現について理解し、登場人物の心情や場面の様子を的確に読み取る。 ②文学的文章から読み取ったことをもとに、作品についての解釈をする。また、その解釈を文章で表現する。 ③自分や他者の作品解釈を評価する。	文学的文章の内容を的確に読み取り、作品を解釈する活動をおとして、物事を多角的・多面的に考える力を身に付けようとする。 ②自分や他者の解釈の妥当性や適切さを評価する活動をおとして、メタ的な思考力を身に付けようとする。 ③①②の汎用的なスキルを、次の学習に生かそうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
1 学期	A 単元 夏目漱石『夢十夜』 【知識及び技能】(1)ア『夢十夜』に表現される文学的な語句の意味や描写について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Bア『夢十夜』に出てくる登場人物の心情や場面の様子を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】『夢十夜』の内容を読み取ろうとする。	・指導事項 【知識技能】(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】Bア ・教材 夏目漱石『夢十夜』『第二夜』 ・一人1台端末の活用 等 単元終了後に、読後の感想をロイロノートで提出させる。	【知識・技能】(1)ア 『夢十夜』に表現される文学的な語句の意味や描写について理解できる。 【思考・判断・表現】Bア 『夢十夜』に出てくる登場人物の心情や場面の様子を的確に読み取るができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 『夢十夜』の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
	B 単元 横光利一『笑われた子』 【知識及び技能】(1)エ『笑われた子』の文体の特徴や表現の技法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Bエ『笑われた子』の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、作品について自分の解釈をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】『笑われた子』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとする。	・指導事項 【知識技能】(1)エ 【思考力、判断力、表現力等】Bエ ・教材 横光利一『笑われた子』 ・一人1台端末の活用 等 テーマを提示し、そのテーマに基づいて解釈したことをロイロノートで提出させ、クラスで共有する。	【知識・技能】(1)エ 『笑われた子』の文体の特徴や表現の技法について理解できる。 【思考・判断・表現】Bエ 『笑われた子』の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、作品について自分の解釈をもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 『笑われた子』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		2	
2 学期	C 単元 島崎藤村『千曲川のスケッチ』 【知識及び技能】(1)ウ『千曲川のスケッチ』が随筆であることや、随筆の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Bア『千曲川のスケッチ』が随筆であることを踏まえて、構成や展開、表現の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】『千曲川のスケッチ』の内容を読み取ろうとする。	・指導事項 【知識技能】(1)ウ 【思考力、判断力、表現力等】Bア ・教材 島崎藤村『千曲川のスケッチ』 ・一人1台端末の活用 等 単元終了後に、読後の感想をロイロノートで提出させる。	【知識及び技能】(1)ウ 『千曲川のスケッチ』が随筆であることや、随筆の特徴を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】Bア 『千曲川のスケッチ』が随筆であることを踏まえて、構成や展開、表現の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 『千曲川のスケッチ』の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	D 単元 梶井基次郎『Kの昇天—あるいはKの溺死』 【知識及び技能】(1)イ『Kの昇天—あるいはKの溺死』の表現から、情景の豊かさを心情の機微を表す語句について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Bイ『Kの昇天—あるいはKの溺死』の表現の特色について評価しながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】『Kの昇天—あるいはKの溺死』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとする。また、自分の解釈を他者に伝えようとする。	・指導事項 【知識技能】(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】Bイ ・教材 梶井基次郎『Kの昇天—あるいはKの溺死』 ・一人1台端末の活用 等 単元終了後に、作品についての自分の解釈をロイロノートで提出させ、クラスで共有する。	【知識及び技能】(1)イ 『Kの昇天—あるいはKの溺死』の表現から、情景の豊かさを心情の機微を表す語句について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】Bイ 『Kの昇天—あるいはKの溺死』の表現の特色について評価しながら、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 『Kの昇天—あるいはKの溺死』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとする。また、自分の解釈を他者に伝えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査、答案返却			○	○		2
E 単元 太宰治『黄金風景』 【知識及び技能】(1)エ『黄金風景』の文体の特徴や表現技法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Bイ『黄金風景』の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価しながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】『黄金風景』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとする。また、自分の解釈を他者に伝えようとする。	・指導事項 【知識技能】(1)エ 【思考力、判断力、表現力等】Bイ ・教材 太宰治『黄金風景』 ・一人1台端末の活用 等 単元終了後に、作品についての自分の解釈をロイロノートで提出させ、クラスで共有する。	【知識及び技能】(1)エ 『黄金風景』の文体の特徴や表現技法について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】Bイ 『黄金風景』の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価しながら、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 『黄金風景』の内容を読み取り、自分なりに解釈しようとする。また、自分の解釈を他者に伝えようとしている。	○	○	○	5	
F 単元 宮沢賢治『眼にて云う』 【知識及び技能】(1)ウ『眼にて云う』が詩であることや、詩の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】Aウこれまで学習した小説、随筆、詩を踏まえて、文章の種類や題材を自分で選択し、読み手を引き付ける作品を創作する。 【学びに向かう力、人間性等】これまでの学習を踏まえ、文章の種類や題材を自分で選択し、読み手を引き付ける工夫をしながら作品を創作しようとする。	・指導事項 【知識技能】(1)ウ 【思考力、判断力、表現力等】Aウ ・教材 宮沢賢治『眼にて云う』 ・一人1台端末の活用 等 創作した作品をロイロノートで提出させ、クラスで共有する。	【知識及び技能】(1)ウ 『眼にて云う』が詩であることや、詩の特徴について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】Aウ これまで学習した小説、随筆、詩を踏まえて、文章の種類や題材を自分で選択し、読み手を引き付ける作品を創作できる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえ、文章の種類や題材を自分で選択し、読み手を引き付ける工夫をしながら作品を創作しようとしている。	○	○	○	3	
定期考査、答案返却			○	○		2	
						合計	35

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学B

教科: 数学 科目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組～ 8組

教科担当: 五十里

使用教科書: 数研出版 高等学校 数学B

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解している。事象を数学化した後、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに關する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとした後、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数列と一般項 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列の定義、表記について理解している。 【思考・判断・表現】 数列の並び方からその規則性を推定して数列の一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。	○	○	○	6
等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 【知識及び技能】 等差数列・等比数列の一般項や和を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。複利計算に	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等差数列・等比数列の一般項や和を理解している。 【思考・判断・表現】 離散する項の関係が考察できる。等差数列・等比数列の和を求める方法を工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列・等比数列の和の公式を自ら導こうとする。複利計算に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	6
1学期 和の記号 等差数列 いろいろな数列の和 【知識及び技能】 Σ の計算ができる。階差数列を利用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 階差数列に興味を持ち考察しようとする	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 Σ の計算ができる。階差数列を利用して一般項を求めることができる。工夫をして和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。数列の規則性を発見する。 【主体的に学習に取り組む態度】 階差数列に興味を持ち考察しようとする。具体的な事象の考察に階差式を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
1章2節確認テスト			○	○		1
漸化式 数学的帰納法 【知識及び技能】 漸化式から一般項を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象の考察に漸化式を積極的に活用しようとする。	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に漸化式を活用しようとする。	○	○	○	5
1章3節確認テスト			○	○		1
確率変数と確率分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分布の特徴を把握できるようにする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 【思考・判断・表現】 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布について積極的に考察しようとする	○	○	○	5
確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分布の特徴を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 確率変数の独立について注意を向けようとする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 期待値、分散、標準偏差を求めることができる。和と積の期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を考察しようとする。確率変数の和の期待値を、複雑な場合に適用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 期待値、分散に関する公式を、既知の公式を用いて導こうとする。確率変数の独立について注意を向けようとする。	○	○	○	8
2学期 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 【知識及び技能】 独立な確率変数の積の期待値、二項分布に従う確率変数の期待値、分散を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 二項分布のグラフに関心をもち、調	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 独立な確率変数の積の期待値を求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	8
2章1節確認テスト			○	○		1
統計的な推測 【知識及び技能】 日常の身近な問題を統計処理するのに、正規分布を利用する。 【思考力、判断力、表現力等】 正規分布を利用して現実のデータについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々なデータについて考察しようとする。	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。母集団標本、標本平均について理解し、仮説検定ができるようにする。	【知識・技能】 日常の身近な問題を統計処理するのに、正規分布を利用できる。 【思考・判断・表現】 正規分布を利用して現実のデータについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	16
2章2節確認テスト			○	○		1
3学期 問題演習	数列や統計的な推測について理解し、それらを様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとした後、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	○	○	○	6
合計						70

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理

教科: 理科 科目: 物理 単位数: 6 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 8組

教科担当者: 安田

使用教科書: (数研出版 物理707・708 総合物理)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1編 力と運動 物体の運動についての観察、実験などをとおして、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 様々な運動について、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 様々な物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動、万有引力、気体分子の運動における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第5章 円運動と万有引力 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	20
	第3編 波 水面波、音、光などの波動現象について観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 波について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 波について、観察、実験などを通して探究し、波の広がり方、音、光における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第3章 光 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第4編 電気と磁気 磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 磁気について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 磁気について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第4章 電気と磁気 第3章 電流と地場 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms		○	○	○	36
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第4編 電気と磁気 磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 電磁誘導、電磁波について、日常生活や社会と関連付けて、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 電磁誘導、電磁波について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流における規則性や関係性を見いだして表現すること。	・第4章 電磁誘導と電磁波 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	20
	第5編 原子 電子、原子及び原子核に関する現象についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア 原子について、基本的な物理法則等を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 原子について、観察、実験などを通して探究し、電子と光、原子と原子核における規則性や関係性を見いだして表現すること	・第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 一人1台端末の活用 ロイロノート、Forms		○	○	○	20
総合演習 【知識及び技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習		○	○	○	38	
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) 演習、課題プリント・ロイロノート・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 課題プリント・振り返りシート	○	○	○	60
						合計	210

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学

単位数: 6 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 8組

教科担当者: (山本)

使用教科書: (数研出版 化学706 化学)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第3編 無機物質 【知識及び技能】 無機物質について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型元素、遷移元素の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 非金属元素 第2章 金属元素 (I) -典型元素- 第3章 金属元素 (II) -遷移元素-	【知識・技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。 (評価方法) ドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) ドリル・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 実験プリント・ドリル・振り返りシート	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
	第4編 有機化合物 【知識及び技能】 有機化合物について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 有機化合物の分類と分析 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 第4章 芳香族化合物		○	○	○	40
定期考査			○	○		1	
2 学期	第5編 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物 終章 化学とともに歩む		○	○	○	50
	定期考査			○	○		1
	第1編 物質の状態 【知識及び技能】 物質の状態と変化、溶液と平衡について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態と平衡について、観察、実験などを通して探究し、物質の状態とその変化、溶液と平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体 第4章 溶液		○	○	○	26
定期考査			○	○		1	
3 学期	第2編 物質の変化 【知識及び技能】 化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化と平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしてくみ 第4章 化学平衡		○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	総合演習 【知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習		○	○	○	24
						合計	210

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

教科: 理科 科目: 生物

単位数: 6 単位

対象学年組: 第3学年 1組~ 8組

教科担当者: 渡辺 弥生

使用教科書: (第一学習社 高等学校 生物)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化 第3章 細胞と分子 生物の進化についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生物の進化について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現すること。	第1章 生物の進化 第2章 生物の系統と進化 第3章 細胞と分子	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	26
	第4章 代謝 第5章 遺伝情報の発現と発生 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用 生命現象と物質についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生命現象と物質について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生命現象と物質についての特徴を見いだして表現すること。	第4章 代謝 第5章 遺伝情報の発現と発生 第6章 遺伝子の発現調節と発生 第7章 遺伝子を扱う技術とその応用		○	○	○	46
2 学期	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答 生物の環境応答についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生物の環境応答について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 イ 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現すること。	第8章 動物の反応と行動 第9章 植物の成長と環境応答	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	28
	第10章 生態系の仕組みと人間の関わり 生態と環境についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生態と環境について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物間関係性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。	第10章 生態系の仕組みと人間の関わり		○	○	○	30
	総合演習 【知識及び技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習		○	○	○	20
3 学期	総合演習 【知識及び技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	大学共通テスト・入試問題演習	【知識・技能】 生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 生物的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。 (評価方法) 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	60
合計							210

年間授業計画

課程 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語演習Ⅰ

教科 外国語

対象学年級: 第3学年 1組~3組

教科担当: 岸波 吉野

使用教科書: 『FACTBOOK English Logic and ExpressionⅠ 桐原書店』

【知識及び技能】学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い・表現【思考力、判断力、表現力等】幅広に語彙について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現する。【学びに向かう力、人間性等】英語に興味・関心をもち、積極的に英語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

科目 英語演習Ⅰ	の目標:	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		知識 言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある発想の違い・表現の違い・表現方法の違いを理解することができる。	技能 情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。	態度 英語に興味・関心をもち、積極的に英語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価標準	知	意	意	
		関	読	書					
<p>Franchising for a natural disaster</p> <p>【知識及び技能】 様々な動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けたり表現させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動詞の綴りについて、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 授業や発問について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動詞の用法 動詞を用いた英作文 動詞を用いて英語でやり取り 	○	○	○	○	○	○	6	
									<p>Water supporting our lives</p> <p>【知識及び技能】 文脈を用いた様々な構文や表現を理解し、必要に応じて適切に用いたり表現させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常生活で頻出される動詞の自然な会話の場面や自分の感情や物事を表す表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常生活で頻出される動詞の自然な会話の場面や自分の感情や物事を表す表現を用いようとする。</p>
<p>Save food you can still eat!</p> <p>【知識及び技能】 様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報に伝達させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常生活で頻出される動詞の自然な会話の場面や自分の感情や物事を表す表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常生活で頻出される動詞の自然な会話の場面や自分の感情や物事を表す表現を用いようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の用法 不定詞を用いた英作文 不定詞を用いて英語でやり取り 	○	○	○	○	○	○	8	
									<p>How can we become more health-conscious?</p> <p>【知識及び技能】 動詞の様々な用法を学び、動詞の活用を用いた多様な文で伝えさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康に関するスロートームについて話し合ったりする表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 健康に関するスロートームについて話し合ったりする表現を用いようとする。</p>
<p>How many smartphones do you buy?</p> <p>【知識及び技能】 名詞を修飾する分詞の用法や構文に関する用法、また分詞構文の活用を表す分詞を用いた文章を書くことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スマートフォンに関するコミュニケーションについて意見を述べ、情報を加えて詳しく説明する表現を用いる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スマートフォンに関するコミュニケーションについて意見を述べ、情報を加えて詳しく説明する表現を用いようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分詞の用法 分詞を用いた英作文 分詞を用いて英語でやり取り 	○	○	○	○	○	○	8	
									<p>Variety of ways to improve your English</p> <p>【知識及び技能】 関係詞を用いた文を作ったり、語句を特定し、構文を修正したり、関係詞を用いて論議の要する文章を完成させることができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本や外国の文化や習わしについて話し合ったりする表現を用いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本や外国の文化や習わしについて話し合ったりする表現を用いようとする。</p>
<p>How you decide which products to buy?</p> <p>【知識及び技能】 比較に関する様々な構文や表現を用いて、物事を比較したりする表現を用いたりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 製品やサービスについて自分の考えや意見を伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 製品やサービスについて自分の考えや意見を伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比較の用法 比較を用いた英作文 比較を用いて英語でやり取り 	○	○	○	○	○	○	8	
									<p>How can we become foreigner-friendly?</p> <p>【知識及び技能】 不定法を用いて、事実と違うことや願望を表現したりする表現を用いたりする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 外国人とのコミュニケーションについて自分の考えや意見を伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外国人とのコミュニケーションについて自分の考えや意見を伝えたり、相手に尋ねたりする表現を用いようとする。</p>
<p>定期考査</p>									1
合計 70									

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

外国語 科目 英語(4技能)

教科: 外国語 科目: 英語(4技能)
 対象学年組: 第3学年 1組~ 8組
 教科担当者: 吉野

単位数: 2 単位

使用教科書: (Blue MarbleⅢ)

教科 外国語

の目標:

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語(4技能)	の目標:
【知識及び技能】	英語の特徴やまじりに関する事項及びその働きや役割を理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理的構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合う力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自立的に表現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	感	配 当 時 数
		聞	読 (や み)	話 (せ い)	書					
A 単元 【知識及び技能】 知識 自分の意見や主張などを伝え合うために必要となる論理的構成や展開及び表現等を理解する。 技能 問題の解決策を助言するために、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。	・Lesson1 AI時代における人間の役割 ・Lesson2 日本の水産資源 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	12
		定期考査						○	○	1
B 単元 【知識及び技能】 知識 自分の意見や主張などを伝え合うために必要となる論理的構成や展開及び表現等を理解する。 技能 問題の解決策を助言するために、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。	・Lesson3 子どもの貧困問題 ・Lesson4 地球温暖化の日本への影響 ・Lesson5 子育てに必要な支援とは ・一人1台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	16
		定期考査						○	○	1
C 単元 【知識及び技能】 知識 自分の意見や主張などを伝え合うために必要となる論理的構成や展開及び表現等を理解する。 技能 オンライン診療と対面診療について、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 オンライン診療と対面診療の利点について、相手に理解してもらえるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 オンライン診療と対面診療の利点について、相手に理解してもらえるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。	・Lesson6 地方の医師不足 ・Lesson7 大学生教育の無償化 ・Lesson8 再生可能エネルギー ・一人1台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	34
		定期考査						○	○	1
D 単元 【知識及び技能】 知識 自分の意見や主張などを伝え合うために必要となる論理的構成や展開及び表現等を理解する。 技能 ソーシャルメディア上で起こり得る問題と回避策について、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ソーシャルメディア上で起こり得る問題と回避策について、相手に理解してもらえるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 ソーシャルメディア上で起こり得る問題と回避策について、相手に理解してもらえるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理的構成や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合う。	・Lesson9 女性管理職 ・Lesson10 地域活性化 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○		○	○	○	16
		定期考査						○	○	1
										合計
										70

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 家庭科 科目 実用家庭

教科: 家庭 科目: 実用家庭 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択

教科担当者: 新倉

使用教科書: 家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)

教科 家庭基礎演習の目標:

- 【知識及び技能】 家庭・衣食住・消費・住居等々について理解し、それらに関わる技能の習得。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や社会生活の中の問題点を見だし、解決策を模索し、論理的に表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 協議を通し、よりよい社会構築に向けて、実践しようとする。

科目 実用家庭 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立に必要な調理技術や、縫製技術等の基礎技術等の知識を会得し、生活の中での実践につなげる。	学習した内容を理解し、自己の生活課題や社会的課題を見つけ、解決方法を模索し、適格な表現でまとめることができる。	家族・子供、経済等に関する制度や法律に関心をもち、他者との関係の中で、住みやすい社会を築き上げる視点を持つ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A単元 自立と共生 【知識及び技能】 職業を選択し、自立した一人暮らしについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 職業調査の発表。一人暮らしの経済について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 職業調べ、住宅物件選び等を自主的にを行い、発表・質疑応答を通して多面的な視野を獲得する。	・指導事項 職業調査・求人票の読み方・一人立ちの住宅探し ・教材 教科書・副教材「これであなたもひとり立ち」・プリント・DVD ・一人1台端末の活用 ・レポート・発表	【知識・技能】 各分野の仕事に関心をもち、自分の進路につなげようとする取り組みができる。 【思考・判断・表現】 住宅物件情報を読み取り、住トラブル、環境に配慮した住生活に関心を持つことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業調査・選択、住宅物件選びなどを自主的にを行い、適格に発表することができる。	○	○	○	12
	B単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活しやすさの基本を知り、改善につなげる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活を見直し、解決策を検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 家族の生活時間や、衣食住に関する事に関心をもち、一人で取り組むだけでなく、協働することの意義を探る。	・指導事項 自らの生活を見直し、充実向上・改善を必要とする生活課題を発見させる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 ・レポート・発表	【知識・技能】 写真・資料・実験・調査結果などの記録をもとに、結果をまとめることができる。 【思考・判断・表現】 自らの生活基盤である家庭内での生活向上を目指し、創意工夫につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族の協力も得て改善したプロセスを報告書にまとめ、家族・友達等の評価を受ける。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	A単元 保育 【知識及び技能】 身の周りの材料を用いた玩具や、おやつ作りの演習を通じて、子供の遊び・食生活についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 2年次に学習した内容を踏まえ、子供を取り巻く環境の様々な課題について考えさせる。子供の発達を促す遊びの演習をする。 【学びに向かう力、人間性等】 児童文化財や、伝承遊びについて調べ、素朴な遊びを体験する。	・指導事項 子供を取り巻く環境について考察させる。様々な角度からの子供の遊びを考えさせる。 ・教材 教科書・図書館での文献 ・一人1台端末の活用 ・グループ研究・発表	【知識・技能】 子供の発達を理解し、成長に合ったおやつや玩具が作製できる。 【思考・判断・表現】 子供を取り巻く様々な環境や社会状況を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供を楽しませる遊びの実践ができる。	○	○	○	10
	B単元 食文化食生活 【知識及び技能】 旬の食材を活用した栄養バランスの良い献立作成と調理。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の食文化の考察。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の昼食に必要な栄養素について理解する。	・指導事項 栄養・食品の知識をもとに、バランスのよい食事計画をさせる。世界の食文化に触れさせる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 ・調理実習	【知識・技能】 栄養・食品の知識をもとに、バランスのとれた献立作成ができる。世界の食文化を理解する。 【思考・判断・表現】 食品の特性と調理との関係を理解し、実際の食事作りに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に積極的に参加し取り組む。	○	○	○	13
	C単元 被服製作 【知識及び技能】 ミシンを使用し防災リュックを作製する。 【思考力、判断力、表現力等】 防災に対する関心を深め、非難時に必要な品が入るバッグを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 防災リュックを作製することにより、防災意識を高めながら、物作りに興味・関心を持つ。	・指導事項 小・中学校で学習したミシンの使い方を復習しながら発展させる。 ・教材 教科書 ・ミシン	【知識・技能】 ミシンを使った縫製技術を身につける。 【思考・判断・表現】 防災グッズについての確認をしながら、作品の制作に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 ボタンや刺繍などの手芸を用いて作品を発展させる。	○		○	11
3 学期	A単元 生活設計 【知識及び技能】 精神的な自立、経済的な自立、生活的自立、性的自立に向けて、これまでの家庭基礎で学んだ技術や知識を確認し、これからの人生を設計する力をつけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の生活設計、課題の解決について主体的に取り組み、自分や家庭・社会がよりよくなるための目標について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションさせる。	・指導事項 将来の自立に向けて、授業で学んだ技術や知識を確認させ、これからの人生設計につなげる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する事ができる。 【思考・判断・表現】 男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような生き方をしたいのかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 未来の自分自身と社会のあり方を考えようとする姿勢がある。	○	○	○	10
合計						70	

年間授業計画

保谷 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 スポーツⅡ

教科：保健体育 科目：スポーツⅡ 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：(1～8組：大山・上島)

使用教科書：()

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えられている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組みようとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 スポーツⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することを目指すための運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの姿勢を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 球技「ネット型(バレーボール)」 【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 ・技を増やすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようにマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・サーブ、アタック ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・仲間と連携した動きによって空いている場所を攻撃したり、空いている場所を作りだして攻撃したり、その攻撃に対応して守ることを中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールを奪いたいときの動きをすること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	10
	B 球技「ネット型(卓球)」 【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 ・技を増やすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようにマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・フォアハンド、バックハンド ・サーブ、ツッツキ、スマッシュ ・リーグ戦	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・仲間と連携した動きによって空いている場所を攻撃したり、空いている場所を作りだして攻撃したり、その攻撃に対応して守ることを中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールを奪いたいときの動きをすること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	10
	C 球技「ネット型(テニス)」 【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 ・技を増やすために意欲的に取り組むことができる。 ・怪我がないようにマナーを大切にすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・フォアハンド、バックハンド ・ストローク、ボレー、サーブ ・リーグ戦	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・仲間と連携した動きによって空いている場所を攻撃したり、空いている場所を作りだして攻撃したり、その攻撃に対応して守ることを中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールを奪いたいときの動きをすること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	10
2 学 期	D 球技「ゴール型(ハンドボール)」 【知識及び技能】 ・パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するなどの攻撃や、その動きに対して空を埋めるなどの防衛の動きで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、ドリブル、シュート ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゴールでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空への侵入などから攻防をすること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	10
	E 球技「ゴール型(サッカー)」 【知識及び技能】 ・パスやドリブルなどのボール操作と仲間と連携して自陣から相手ゴール前へ侵入するなどの攻撃や、その動きに対して空を埋めるなどの防衛の動きで攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・パス、ドリブル、シュート ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・ゴールでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空への侵入などから攻防をすること。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	10
	F 球技「ハンド型(フットサル)」 【知識及び技能】 ・投球に対する安定したパス操作により出陣、進軍、得点する攻撃と仲間と連携した守備のパス操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の動きや相手の動きを見て、改善点を話し合いを通じて、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にし、協力して試合をすることができる。	・整列指導、準備体操、補強運動 ・キックボール、バッティング、ノック ・ゲーム	【知識・技能】 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技者の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携しゲームを展開すること。 ・状況に応じたキックボール操作と安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・競技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い高め合うことなどや、健康・安全を確保すること。	○	○	○	12
3 学 期							8

別紙 5 の 2 (総合的な探究の時間)

東京都立 保谷高等 学校 全日制 課程 普通 科

令和 8 年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3 学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	年間におけるガイダンス (年間を通じてのキャリア教育意識付け)	進路志望の再確認を行い、教科横断的視野をもった志望理由書を完成させる。年間計画を立てさせ、優先順位は何かを把握させる	担任が進行状況をチェックし、評価する	4
	5	未来探究	自分の興味関心のある新書を読み、意見を深める。またキャリアビジョンをスライドにまとめる。	取り組みの姿勢、ワークシートの達成、作成したスライドで評価する	8
	6		受験方法別にガイダンスを行い、個に適したキャリアビジョンを主体的に構築させ、実現を支援する		3
	7		三者面談で作成した自分の将来に対する計画を発表する。		実現に向けての進み具合、的確な分析が出来ているかを評価する
2	8	未来探究発表	三者面談で作成した自分の将来に対する計画を発表する。	実現に向けての進み具合、的確な分析が出来ているかを評価する	1
	9	未来探究 (大学の進路相談、願書指導、面接指導)	クラスで面接練習を行い、お互いの様子を見合うことで深め、志望理由を明確に言語化する。		4
	10	未来探究 (模試の活用と振り返り)	受験した模試の振り返りから、足りないことを分析し、次の模試に備えた計画をたてる。	取り組みの姿勢、ワークシートの達成で評価する	4
	11		入試カレンダーを作成し、意識の高揚を図る。また受験レポートから総合型入試、学校推薦型入試の振り返りをまとめる。		4
	12		学校行事、部活動、学習などの学校生活全般を振り返らせ、本校の教育目標をどの程度実現し、どれくらい成長したかを認識させる。		2
3	1		学校行事、部活動、学習などの学校生活全般を振り返らせ、本校の教育目標をどの程度実現し、どれくらい成長したかを認識させる。	振り返りの状況や取り組み姿勢から評価する	5
	2				
	3				
配当時間数の合計					35